

【22_063/技術系メルマガ】なぜ『損切り』を粘ってはいけないのか？

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今週も終わりになりますが、今夜は『米 雇用統計』がありますね。

僕自身は、前後にポジションをうっかり取らないようには気を付けますが

背景がどうであろうと、『型』さえあればしっかりトレードする意識は変わりません。

昨日は、1回トレードを実施しましたが、イメージする動きとは少々違ったようで
建値決済となりました(笑)

▼GBPUSD(S) 結果:建値決済▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1499306114282061825?s=20&t=1bvItXkwTAv8AALXCbKAeQ>

～～

セットアップの①波認識は、M15足の全MA下抜けと、押し安値切りによる強い下げ。

プルバックの上げにもう少し時間をかけて欲しかったが、丁度いい深さからエントリーしたのが1回目。

2回目のトライは、M5足/TTopのネックブレイク。

▼2回目のエントリー▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1499353105045270528?s=20&t=1bvItXkwTAv8AALXCbKAeQ>

結局、両者とも思うほどのボラが出ずに終わった格好

～～

また次のチャンスも、いつも認識する『型』に沿ってやっていきます。

さて、今回のテーマですが、『損切り』にフォーカスしてみました。

僕が日頃、『損切りは粘ってはいけない。決めた通りに切る』事を伝えている理由についてです。

「『損切り』を粘ってはいけない理由

「目線は合っているはずだ。今の含み損は一時的なもので、ここをしのげばプラテンするはずだ」

こう考えて、損切を設定せずにポジションを取ったり

折角設定したストップを移動してしまった経験がある人、まさに今それをやっちゃっている人もいます。

僕がそれに対して思うのは、「自ら不要なリスクを増大させている」ということです。

ある意味、トレードの中で『もっともやってはいけない行為』の一つといっても過言ではないです。

先日、こんなツイートをしました。

▼何故損切を粘ってはいけないか？▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1497763258324946946?s=20&t=PnRUyCsLcb8FTWDwYdWU1A>

ツイートの内容は字数も限られているので、重要ポイントを結論として書くにとどまっていますがこの「”リスク” がぼやける」という点が一番重要なポイントです。

折角、エントリーを検討する段階で『期待する利益幅(リワード)』に対して

『そもそもリスクを負うに値するか？(必要経費として認められるか？)』を

検討して決めた損切りなのに、それを延長することは如何なる理由があってもやってはいけないことです。

それをするくらいなら、潔くそのポジションは予定通り損切りし

次のチャンスで同じようにサイコロを振るべきです。

この思考に嵌っている時点で、1回1回の勝ち負けの結果に振り回されて、一貫性のないトレードを自ら進んでやっつけてしまっているわけです。

100ポイントライブを聞いてくれた人は、僕がエントリーする際に自分の認識する波形に沿って『一貫した理由』で損切り位置を”事前に”決めていることは、よく理解して頂けたかと思います。

そこまでを1セットの『型』として100回、1000回同じトレードを繰り返す。

どんな相場状況になろうと『収益率を安定させたい』と考えるなら、この作業の精度を高めていくしかありません。

僕が常に、トレードにおいて「金額」ではなく『利回り』にフォーカスして

日々の成長度を確認すべきといっている話とも関連しています。

日々贈るメルマガそれぞれのテーマは、バラバラになっているようでも（細く・太くの差はあれど）すべて繋がっています。

明日以降届くメールも、その点を意識してもらえると幸いです。